

代表質問

鳥取県議会自由民主党



河上 定弘 議員

選挙区
米子市



平井県政5期目の折り返し

問 全国知事会長の務めた平井知事が石破総理と呼応しながら鳥取県からの地方創生を主導し、令和の改新を成し遂げることを期待しているが、残り任期2年に臨むにあたり、知事の意気込みを伺う。

答 次の世代を見据えながら、地域と人を育てていくことが重要。地方創生を主導し、この不透明な時代を乗り越える礎を築き、若者世代や男女共同参画など新しい視点を県政の中心に据えながら進んでいきたい。

問 昨年11月に石破総理、赤澤大臣などが参加し「日本創生に向けた人口戦略フォーラムinとっとり」が開催され、人口減少問題の克服のための国民的運動のスター

トが力強く宣言された。このような動きを更に全国に広めるために、人口最少県の鳥取県で全国の知事が一堂に会する全国知事会議を開催してはどうか。

答 人口減少に関する議論を深めていくためにも、47都道府県が集まる全国知事会議で人口最小県の実情や奮闘を見てもらい、実感してもらうことは重要。来年の夏の本県開催を目指したい。

物価高騰への対応

問 本県にも影響が大きく生じている物価高騰やトランプ関税に対して、迅速かつ柔軟に対策を講じるべきと考えるがどうか。

答 県民生活に影響が出ており、対策を急ぐ必要がある。まず緊急対応として、生活困難者やエネルギー高対策支援を実施したい。また、国際情勢や国の新たな追加対策を見ながら、今後も機動的に対応していきたい。

災害に強い地域づくり

問 道路交通網は、ミッシングリンクを解消してこそ、渋滞緩和、

交通安全の向上や、緊急時の避難路や輸送路など最大限の効果を発揮する。南海トラフ巨大地震はじめ大災害での復旧、復興に寄与するためにも、鳥取南北道路、北条湯原道路、江府三次道路、米子境港間の高規格道路などの道路インフラの早期整備が求められていると考えるがどうか。

答 計画段階評価に着手した米子境港間の高規格道路や、都市計画審議会が開催される鳥取南北道路はじめミッシングリンクの解消に向け、残り2年の任期内で筋道をつけたい。

問 本県の地理的優位性と災害リスクの相対的な低さに加え、防災インフラの集積は、西日本の広域防災拠点の中枢と位置づけるための確かな土台である。令和8年度の新設が予定される防災庁の分庁的拠点の誘致も含め、国民の命と暮らしを守る防災の砦としての本県の役割を期待するがどうか。

答 航空自衛隊美保基地、陸上自衛隊米子駐屯地が所在し、境港も特定利用港湾に指定され、後方支援の拠点になり得る地。また鳥取大学医学部付属病院は、今後の整備計画で災害時の拠点構想を盛り込んでいる。本県が培ってきた防災体制のノウハウも活用し、南海トラフ地震など大規模災害に備

え、防災庁の分局的な組織を本県に作り、日本海側の広域防災拠点としての役割を担っていきたい。

農業政策の展開

問 この度の米不足をどう捉えているのか。また、農業従事者の高齢化や担い手不足が深刻な中、県内の農業生産額1千億円目標達成や食料自給率の向上にむけ重要な柱である水田農業の今後の政策展開について伺う。

答 消費生活の現場と生産の現場の両方を満たす形を模索しないといけない。政府にもしっかり訴えていく。また、米価のモニタリングを新たに月2回実施することに加え、小規模な農業者向けの新しい機械導入支援や、生産効率の向上、省力化などの支援を通じ、米の増産を応援していきたい。

戦後八十年を迎えて

問 本年、戦後八十年という大きな節目を迎えるにあたり、平和への思いと県民の安全・安心な暮らしをいかに守り、次世代へ繋げていくつもりか伺う。

答 この機に平和への思いを子どもたちに伝え、繋いでいかねばならない。世界の恒久平和を願い、県として、記念事業「平和の祈りと誓いの集い」の実施を検討中。